

### 3. 庄司川総合内水対策計画

#### 3.1 計画概要について

##### (1) 整備目標

国土交通省、福岡県、飯塚市が連携して、ハード・ソフト対策が一体となった総合的な内水対策を進めることにより、W=1/10規模の内水における床上浸水被害の解消を図るとともに、その機能を維持させる。

##### (2) 整備期間

ハード対策については、概ね5年での内水対策効果発現を目指し、可能なものから事業を実施する。ソフト対策についても同様に可能なものから取組を進め、継続的に効果維持を図っていく。

##### (3) 整備方針

ハード対策として、福岡県は庄司川の河川改修を行う。また、飯塚市は、庄司川からの逆流防止対策及び地先対応による浸水防止を実施する。なお、国土交通省は、福岡県の支川整備に伴う流量増などに対応するため、庄司川排水機場のポンプ増設及び遠賀川本川の河道掘削を行う。

さらに、整備後の治水安全度を低下させないよう、条例等による土地利用に関するルール作りや地域住民への啓発活動など適切なソフト対策を国土交通省、福岡県、飯塚市が連携して実施する。

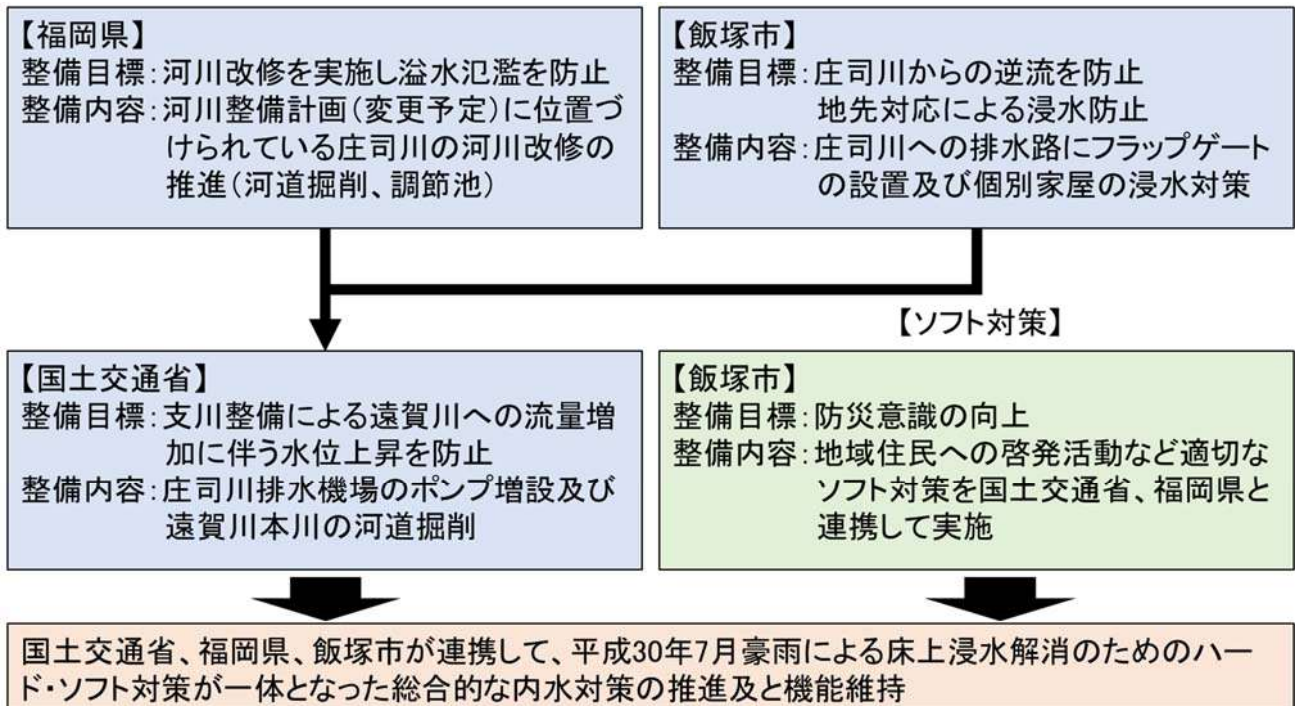


図 3.1.1 国土交通省・福岡県・飯塚市による庄司川総合内水対策計画の整備方針